

7. 電磁波腋臭症治療器 (miraDry®) による 腋臭症の治療経験

清水 祐紀、佐々木 英悟*

(昭和大学形成外科学教室、※佐々木美容形成外科クリニック)

【はじめに】

腋臭症治療は古典的な剪除法や、クアドラクターによる治療などの外科療法、ボツリヌス毒素による多汗症治療などが行われている。今回われわれは電磁波腋臭症治療器である miraDry® を使用し治療する機会を得、術後治療部位の病理を採取できたので、その病理結果とともに報告する。

【対象と方法】

対象は 40 代男性 2 名の腋臭症患者である。miraDry® (米国ミラマー社製) は皮膚を切開する事なく、皮膚の表面から電磁波(マイクロ波)の熱を送り込み、選択的に皮膚表面より 1~5 ミリの深さの組織に熱損傷を加え汗腺の働きを永続的に失わせる治療である。この miraDry® による治療をメーカーのプロトコル通りに 2 回施行し、施行後 6 か月以上経過した後治療部位の皮膚、ならびに未治療側の皮膚を採取し病理組織学的検討を行った。

【結果】

2 例とも真皮浅層から深層にかけて瘢痕組織に置換され汗腺組織の数の減少が認められ、1 例では顕著に汗腺細胞が減少していた。

【考察】

miraDry® は非手術療法であり、術後のダウンタイムがほとんどなく、瘢痕もできないため、手術療法に比較し患者に受け入れられやすい治療であるが、その治療結果については、客観的根拠に乏しい報告しかない。今回われわれは 2 例の治療結果より、汗腺細胞の明らかな数の減少を確認し、症例 2 ではエクリン汗腺を含み顕著に汗腺細胞が減少していた。これらの結果を踏まえて治療方法を工夫することにより、剪除法と同等の治療結果を得ることが可能なことが示唆され、今後さらなる検討を行っていく予定である。